

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成29年度 大学職員情報化研究講習会
～基礎講習コース～
開催要項

<http://www.juce.jp/kenshu/kisoko2017/>

開催趣旨

本協会では私立大学における職員の職務能力の開発・強化を支援するため、全学的な教育の質的転換及び教学マネジメント体制の整備に向け、職員として情報通信技術（ICT）を駆使した教育改革に主体的に関与できるよう知識理解を深めるとともに、実践力の向上を目的として研究講習を実施しています。

本コースは、参加者が、ICT活用の可能性や工夫について基礎的な理解を深め、大学の管理運営や教育活動の充実に向けて主体的に取り組む考察力の獲得を目指します。

1. 本コースのねらい

開催趣旨に基づき、参加者が次のような成果を修得することを目指します。

- ① ICTの活用が大学の管理運営、教育活動の充実に果たしている役割を認識する。
- ② 自己の業務の改善や職場における課題解決にICTの活用を考え、提案できるようにする。

2. 対象者：私立大学・短期大学に所属する職員

（勤務年数の浅い方々や他業種からの転職者など当協会への加盟・非加盟は問いません）

3. 日程：平成29年7月18日(火) 12時45分～20日(木) 正午解散

4. 会場：浜名湖ロイヤルホテル（静岡県浜松市西区雄踏町山崎 4396-1 ☎053-592-2222）

* 本研修は、原則1部屋2名利用の合宿研修として全員上記ホテルへ宿泊いただきます。ただし、シングル利用の希望があれば先着30名まで受付いたします。なお、部屋割りは当方で行います。

* 最寄り駅 JR 東海道本線「舞阪」駅（浜松駅より約5分）より送迎バスを用意しております。

5. 募集定員：120名（申込先着順）

6. 申込方法：本開催要項添付の「申込書」に記入いただき FAX または Web サイトから申込みください。締切は7月10日(月)ですが定員に余裕があれば受け付けますので問い合わせ下さい。

Web：<http://www.juce.jp/kenshu/kisoko2017/> FAX：03-3261-5473 Tel：03-3261-2798

7. 参加費：加盟校・・・1名につき30,000円 / 非加盟校・・・1名につき60,000円

その他に、宿泊費（2泊5食付）として29,000円を1日目受付時に直接ホテルへお支払いください。または、シングル利用の場合、宿泊費として37,000円をお支払いください。

8. 参加費の支払い：大学でまとめて7月11日(火)までに銀行振込によりお支払いください。

<振込先> りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金口座 口座番号：0054409

名義人：私情協 シジヨウキョウ

* お願い：振り込み名義に「k29」の記号を追記願います。

* キャンセルの場合は7月11日(火)までにご連絡いただければ振り込み手数料を差し引いた参加費を返金します。それ以降のキャンセルは、資料代等の実費を請求します。

* 当日のキャンセルは、ホテルのキャンセル料が100%発生しますのでご了承願います。

9. プログラム概要

【事前研修】

大学を取り巻く環境、社会が大学に求めること、ICTを活用した学修環境など、研修参加にあたり把握しておいていただきたい基礎的な情報について、私情協のWebサイト上のコンテンツと昨年度実施した本講習会のグループ討議の成果を踏まえて事前に学習していただきます。

【本研修】

第1部では、研修を進めるにあたり必要となる、大学を取り巻く環境、大学教育の質的転換の必要性と教学マネジメント体制の重要性、それらを実現するための基盤環境として情報通信技術（ICT）活用の意義などについて情報を共有し、課題認識を深めます。

第2部では、自らがどのように教育改革や大学改革に関与すべきか、対話と議論により望ましい改善案の提言作りを通じて、主体的な考察力、イノベーションに取り組む姿勢の獲得を目指します。

第1部 全体会

(1) イントロダクション 「研究講習会での学びについて」

木村 増夫 氏（上智学院理事長補佐、運営委員会委員長）

大学の経営戦略や教育活動の充実に向けて、職員が主体的に取り組むための心構えについて理解の共有を図ります。

(2) 情報提供

①「ICTの活用と課題」

遠藤 桂一 氏 (芝浦工業大学情報システム部長)

大学の業務改革、教育改革における ICT 活用の現状を紹介し、考えるべき情報システム及び支援体制について理解の共有を図ります。また、情報の活用はどのようにするのか、業務の ICT 化ではどのような能力が求められているかを確認します。

②「データの活用と業務の改善」

齋藤 真左樹 氏 (日本福祉大学常務理事、副学長)

情報を収集・可視化、各部門で共有することで問題を発見し、解決に向けた取り組みについて、ペーパーレス会議などの事例を通じて、どのように情報を活用して業務改善につなげているか理解の共有を図ります。

③「eポートフォリオの構築と活用」

高島 伸治 氏 (金沢工業大学情報処理サービスセンターシステム部長)

学生の学修活動振り返りと教員の授業振り返りを通じてカリキュラムなどの改善につなげる e ポートフォリオの構築から仕組み、効果・課題など学生支援に向けた取り組みについて理解の共有を図ります。

④「情報セキュリティ (自分がきっかけにならないために)」

西松 高史 氏 (金城学院大学財務部システム担当課長)

自分の行動が情報流出、データ改ざん、組織全体へのウイルス感染、身代金要求型攻撃による感染被害の要因とならないため、サイバー攻撃の現状を確認し、注意すべきことについて考えます。

(3) 全体討議

事前研修を含め、情報提供について理解度の確認を行った上で、グループごとに ICT を活用して教育改革及び業務改革に主体的に関与することの重要性について気づきを共有します。

第2部 グループ討議

大学の管理運営や主体的な学修環境を構築するにあたり、職員各自が果たすべき役割やそれを実現する手段として ICT を活用する意義・重要性について、グループ討議により確認・共有し、教育活動のイノベーションにつながる提案、大学の管理運営改善に資する提案に向けて、ICT の活用を含む望ましい改善策の構想作りを行います。

ステップ1 気づきの確認 1日目 17:15~17:45

第1部 (イントロダクション、情報提供) を受けて、大学改革の必要性、職員に求められる能力、ICT を活用して教育改革及び業務改革に関与することの重要性と主体的な取り組み姿勢について、各自がどのような“気づき”を得ることができたか、グループ内で発表し、共有します。

ステップ2 討議と成果のまとめ 2日目 9:00~17:30 3日目 9:00~10:00

教育活動のイノベーションにつながる提案、大学の管理運営改善に資する提案に向けて、ICT を活用した望ましい改善策の構想作りについて、午前と午後に分けてグループ討議を行います。その際、グループ討議の成果を自己点検・評価できるようにするため、以下の「到達度評価項目」のチェックシート※を用いて確認します。

ステップ3 発表・相互評価 3日目 10:00~12:00

グループ討議の成果発表、グループ間での相互評価、意見交換を行います。

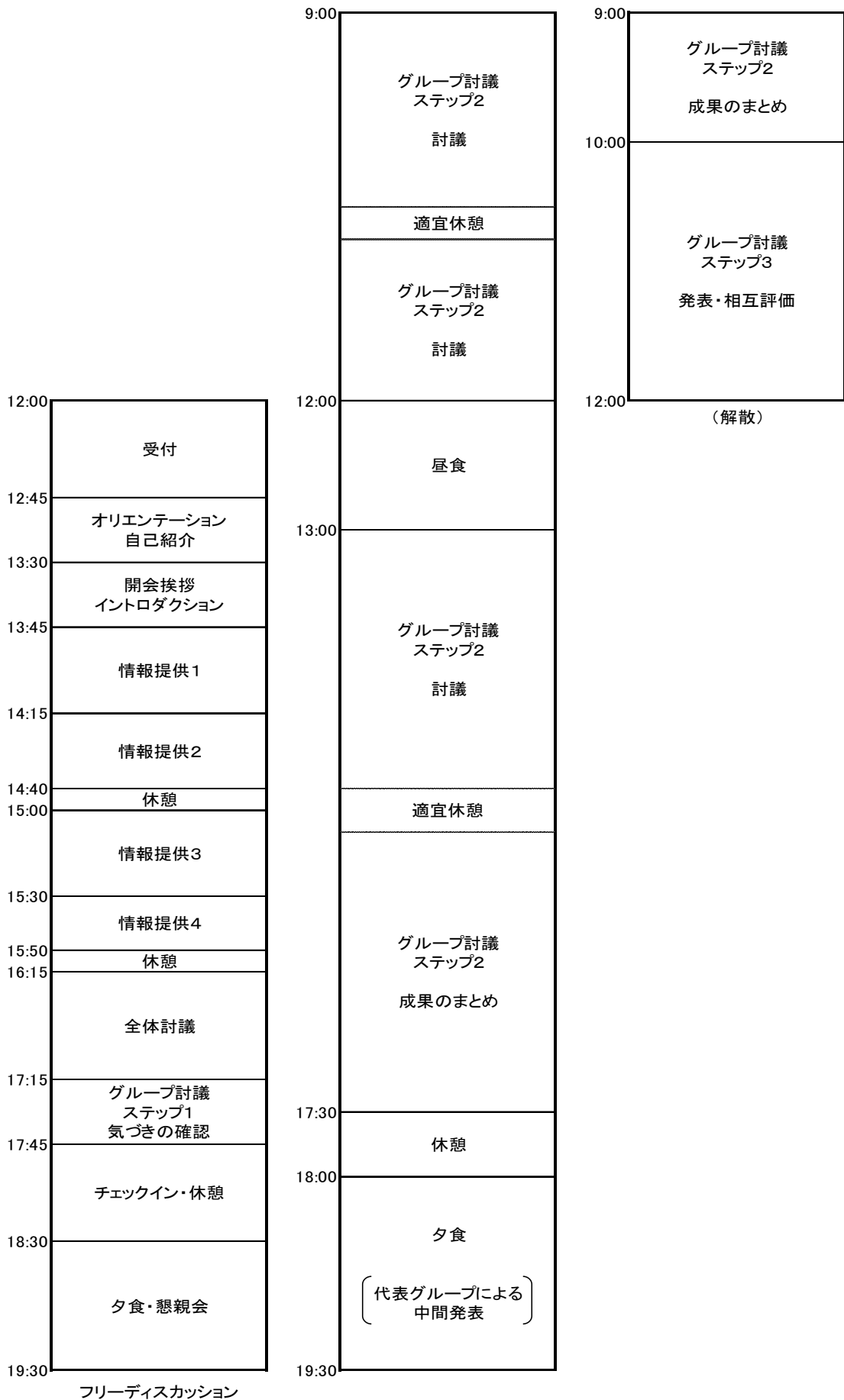
※ 到達度評価項目：問題解決において求められる主要な能力を到達度評価項目として設定し、グループ討議における自己の関与を基に、自己評価により到達度を確認します。

- ① 課題発見能力：大学が抱える諸問題について、その本質的な課題を探るため、多様な観点から事象を分析しようとする態度を持つ。
- ② 創造的思考力：課題解決を図るため、積極的にアイデアや意見を述べて創造的な議論を促そうとする態度を持つ。
- ③ コミュニケーション能力：他のメンバーの意見やアイデアを尊重し、議論を発展させるためお互いに協調しようとする態度を持つ。
- ④ スキルを使う姿勢と態度：討議を通じて学んだ成果を認識し、これを常に磨きながら、自身の大学の教育改善に役立てようとする態度を持つ。
- ⑤ プレゼンテーション能力：グループでの討議内容を他のグループに分かりやすく伝えるため、相互に協力しながらスライドを作成する。
- ⑥ 発展的思考力：質疑応答や他グループの発表から、新たな着眼点や改善点を発見して、それを相互のブラッシュアップにつなげようとする態度を持つ。

【事後研修】

グループとしての研修報告を A4 で 2 枚にまとめ、発表スライドを添付資料として 8 月 25 日 (金) までに提出する。 提出先：kisoko2017@juce.jp

平成29年度 大学職員情報化研究講習会 基礎講習コース タイムスケジュール



参考：参加者の声
平成 28 年度アンケートより抜粋

- ・ 大学と社会との連携を取ることの重要性を強く意識する必要性を感じた。(20代 A 班)
- ・ 大学における情報の重要性・活用方法など改めて認識できた。(20代 A 班)
- ・ 大学全体、社会全体を俯瞰して業務につなげていくことを意識したい。(20代 A 班)
- ・ 研修前は情報が遠い存在だったが、業務効率化や学生サービス向上のため、どのように ICT を駆使できるかの視点を身に付けることができた。(20代 A 班)
- ・ 大学の壁を越えて議論することで新たな視点や多様な価値観を共有できた。(20代 A 班)
- ・ あまり馴染みのない ICT について、情報提供を通じて理解を深め、可能性・多様性を感じ、職員としての姿勢も学べた。(20代 B 班)
- ・ 発表の形まで持って行けた達成感がグループ内で生まれたことの経験は今後につなげていけると思う。(20代 B 班)
- ・ 大学のあるべき姿、方向性などを考える時間が持てて良かった。(20代 B 班)
- ・ 情報提供は、ICT の専門的な知識がなくても理解しやすい内容で良かった。(30代 B 班)
- ・ 大学の課題を考え、改善策を発案する中で課題を発見する習慣が得られた。(20代 B 班)
- ・ 学生のために働くこと、その中でより便利で効率的に工夫する意識で業務をさらに進めていきたいと思った。(30代 C 班)
- ・ 対応策等について今後も情報交換できるように今回の縁を大切にしたい。(20代 C 班)
- ・ 研修で得たアイデアを使って学生のより良い学びに還元していきたい。(20代 C 班)
- ・ 泊りがけということで不安で一杯だったが、一緒にいる時間が長い分、より良い話し合いができたと思う。(20代 C 班)
- ・ ICT について考えることがほとんどなかったが、ICT が教育の質を保証することにつながることを知れて良かった。(20代 D 班)
- ・ 一つの目標へコミュニケーションを取りながら意見交換し、目標を達成するプロセスは大事で、部署内に取り入れたい。(40代 D 班)
- ・ 大学環境で働く中で、多くの大学が同様な悩み・問題があり、各大学が対立するのではなく、共同して改善に向かうことができれば良いのではないかと強く感じた。(20代 D 班)
- ・ 日々の意識から流れがちな建学の精神や 3 ポリシーなど大学の目指すべき姿を忘れずに職務に取り組みたいと思う。(20代 D 班)
- ・ ICT 導入が目的ではなく、問題解決手段の一つに過ぎないことに気付いた。(20代 D 班)
- ・ 主体的、自発的に動くことの大切さを伝えていきたい。(20代 E 班)
- ・ 研修を通じて大きな理想像を描きながら仕事に取り組むべきだと感じた。(20代 E 班)
- ・ 課題意識を持ち、ルーティンワークを見直し、新しいやり方の提案などで業務をより円滑に進められるようにしたい。(20代 E 班)
- ・ グループワークを通じて様々な視点や自分にはない発想を得られた。(20代 E 班)
- ・ これからどのような改革が必要なのか、自大学に足りないところは何なのかを発見することができた。(20代 F 班)
- ・ 他大学の職員と交流の機会が少ないので、とても良い経験となった。(20代 F 班)
- ・ グループ討議は初めての経験だったが、様々な意見が聞けて勉強になった。(20代 F 班)
- ・ 普段の業務からは想像できない大きな視野で物事をとらえることができた。(20代 F 班)

平成29年度 大学職員情報化研究講習会 ～基礎講習コース～ 参加申込書
 ※FAX 03-3261-5473 (私情協事務局) ※本紙はコピーしてお使い下さい

※申込書に記入いただいた情報は、部屋割り、班分け、参加者名簿のほか、研修に関する連絡・情報提供のため
 に利用します。データ入力等業務委託契約をしている業者以外の第三者へ提供・開示することはありません。

大学名 _____ 事務連絡者氏名 _____

TEL: _____

所属、役職 _____

FAX: _____

所在地：〒 _____

E-Mail: _____

参加者氏名	年齢	性別		喫煙 有無		シングル 希望※		所属及び役職名	参加者の 所属部門※	在職 年数※	参加者のE-Mail address
		男	女	有	無	有	無				
1	歳	男	女	有	無	有	無			年	
2	歳	男	女	有	無	有	無			年	
3	歳	男	女	有	無	有	無			年	
4	歳	男	女	有	無	有	無			年	
5	歳	男	女	有	無	有	無			年	
6	歳	男	女	有	無	有	無			年	
7	歳	男	女	有	無	有	無			年	
8	歳	男	女	有	無	有	無			年	

※グループ分けの参考とさせていただきますので、下記の中から参加者の所属部門を一つ選びご記入ください。

- ① 総務部門 ② 広報部門 ③ 企画部門 ④ 企画部門 ⑤ 会計経理部門 ⑥ 財務部門 ⑦ 管財部門 ⑧ 学事・教務部門
 ⑨ 学生部門 ⑩ 就職部門 ⑪ 情報センター部門 ⑫ 図書館部門 ⑬ 付属関係 ⑭ その他 ()

※ 在職年数の数え方について、例えば本年度入職された方は1年と記入して下さい。

※ 中途入職の場合、現職以前に大学職員としての職歴がある場合は合算していただきます。

※ 宿泊は、シングル利用の希望を受け付けますが、先着30名までとさせていただきます。また、ツイン利用代金よりもホテルへの支払いが8千円追加されます。